

地域との連携で充実した 見守り活動の実践

戸畑区一校地区

民生委員児童委員協議会

会長 堀淵 正

【地域の概要】

一校地区は戸畑区の東南に位置し、県道下津戸畑線沿いの交通の便利な所です。近くには、北九州市の中央公園、夜宮公園、国指定文化財の旧松本邸(西日本工業倶楽部)もあり、緑豊かで、自然に恵まれた閑静な地域です。

昔は旧新日鉄や九電の社宅等が半数を占めていましたが、現在は全て取り壊され、その跡地に一戸建てや高層マンションが立ち並び、人口約5500人、世帯数約2500世帯、高齢化率約30%の比較的若い世代が多い地域となっています。

現在、6名の民生委員・児童委員と2名の主任児童委員で見守り活動を実践しています。委員のうち6名は10年以上の経験者で、お互いの連携を生かした見守り活動ができていないのではないかと思います。

【地域との連携】
地域行事はほぼ全て「まちづくり協議会」が主催し、民生委員は全員この会のメンバーとなっています。

また地区社協役員はほぼ全員が民生委員で構成され、福祉協力員は担当民生委員の地域から我々民生委員が推薦するため、両者の連携は当然良好なものとなっています。地域の見守りも毎月の民生委員地区会議と月1回の連絡調整会議の中で福祉協力員の情報も参考に、行政とも連携して充実した情報交換を行っています。

地域には2つの高齢者サロンがあり、社協の役員でもある我々が運営にも全面的に関わっています。その他にも4つのサロンが新たに誕生し、健康・生きがいづくりの場を支援する活動も積極的に進んでいます。

地域行事との関わりが多く大変忙しい状況ですが、その分地域との繋がりが密になり、より充実したきめ細かな見守り活動ができています。

活動の基本となるのは、その活動が楽しくなければいけません。これからもどんなに忙しくても「仲良く楽しく」をモットーに、皆さんの協力のもと民生委員活動を頑張ります。



一校地区民児協のメンバー



サロンの様子

活動最前線 ほつとひろば

主任児童委員として

小倉南区高蔵地区

民生委員児童委員協議会

主任児童委員 渡邊 恭子

高蔵地区は、小倉南区の東端に位置し、門司区と隣接する自然に恵まれた緑豊かな地域です。

私は、昨年の12月から主任児童委員として活動を始めました。先輩の民生委員・児童委員に声をかけていただき、地域のために少しでも役に立つことができたいと思いい、この仕事を引き受けました。

活動する中で心がけているのは、日頃からなるべく子どもと関わるように意識していることです。幸い、市民センター職員として勤務していますので、市民センターで子どもたちと接する機会に恵まれています。子どもを対象としたイベントで一人一人の名前を覚え、みんなに声をかけるように努めています。子どもとの会話の中で表情の変化などを見逃すことのないように気を付けて、何か困りごとがないか見守っています。

また、未就園児とその保護者の交流の場であるフリースペース「たかくらっこ」では、毎回趣向を凝らした内容で、参加者と楽しみながら子育て支援活動に取り組んでいます。

今年度は夏まつり、秋のふれあいまつりなど地域のイベントが復活し、民生委員・児童委員もあらゆる行事に参加して地域住民とのふれあいの機会を積極的に増やしています。その中で特に子どもと子育て家庭に関する情報には丁寧に対応したいと思っています。

これからも、主任児童委員として初心を忘れることのないよう心がけながら精一杯努力してまいります。



フリースペース「たかくらっこ」



むかしあそびに興味津々!



北九州市 民児協だより

支えあう 住みよい社会 地域から

第51号
令和5年9月1日発行

●発行/北九州市民生委員児童委員協議会 ●発行者/会長 中杉 長男 ●企画・編集/広報委員会
〒804-0067 北九州市戸畑区汐井町1番6号 ウェルとばた8階 北九州市社会福祉協議会内 ☎093-873-1296/FAX093-873-1351

特集

地域交流型 フードサポート事業



八幡東区地域交流型 フードサポートに参画して

北九州市民生委員児童委員協議会

広報委員会 松田 京子

八幡東区地域交流型フードサポートは、個人や企業、農家から寄贈された食料品を、社会福祉協議会を通じて、必要な皆さんへおすそわけする取り組みです。八幡東区民児協からは協力団体として多くの民生委員・児童委員が前日までの準備や当日の実施協力を行いました。当日は、民生委員・児童委員と自立支援相談員が来場者が抱える困りごと相談に対応できるように困りごと相談コーナーも担当しました。

令和5年3月11日の当日は58世帯が来場し、食料品のおすそわけだけではなく、プチ縁日やゼンザいの振る舞いもあり、会場内に笑顔があふれ、あたたかい地域づくりにつながる催しとなりました。

来場されたときは遠慮しているように見受けられたみなさんが、帰るころには大人も子どももみんながすてきな笑顔になっていました。民児協としても、ちょっとした手助けが必要な時は、誰でもお互いが助け合える地域づくりが大切だと改めて感じさせられた取り組みになりました。

特集 令和4年度 民生委員活動件数について

令和4年度の民生委員・児童委員及び主任児童委員の活動件数について報告します。
 令和3年度に比べ、相談・支援件数は、世帯担当委員、主任児童委員ともに若干数増加しました。家庭訪問をはじめとする要支援対象者との関わりについて、状況に応じた対応が必要でした。そのような中、民生委員・児童委員の活動は主に電話等での安否確認や情報提供を中心に展開し、市民の困りごとの相談や支援にあたりました。

民生委員活動件数

世帯担当委員				主任児童委員		
項目	R4年度	R3年度	比較	R4年度	R3年度	比較
相談・支援件数	61,012	59,555	1,457	3,826	3,543	283
訪問回数	284,641	267,347	17,294	3,473	3,684	▲211
連絡調整回数	94,211	89,845	4,366	17,516	16,240	1,276

特集 こんなときどうする？～活動記録の書き方③～

今号では活動記録の意義や、記入上の留意点についてまとめました。
 地区の会議等で今一度、活動記録について共通理解を深めてみましょう！

●活動記録はどんなことに役立っている？

活動記録は、日々の活動を記録し、自らの活動を定期的に振り返ることで、要支援者に対する支援の参考とするとともに、以後の活動へと役立てるものです。

全国の約23万人の活動記録は、集計・分析され、活動の現状を明らかにするとともに、国民の生活課題の動向を踏まえ、各種福祉政策の企画・立案に役立っています。

●記入上の留意点(ポイント)

- 1 民生委員・児童委員として活動した内容を記録しましょう。
- 2 できる限り、活動した日に記録しましょう。
- 3 プライバシー性の高い情報や、噂・伝聞は記入すべきではありません。
- 4 記入の判断に迷う場合は、他の委員や民児協会長に相談してみましょう。

詳しくは、全国民生委員児童委員連合会(全民児連)が作成した、「活動記録の記入の手引き」をご覧ください。



活動記録記入の手引き

ご受章おめでとうございます



小倉南区
山下 一則 氏

春の叙勲

民生委員として長年にわたり地域活動に貢献された、元民生委員・児童委員の山下一則氏(小倉南区)が瑞宝単光章を受章されました。

編集後記

新メンバーでの2号目の「民児協だより」が、無事に発行となりました。
 皆様の活動のお役に立てるような紙面作りに励んでいきますので、ご意見、ご質問などありましたらお寄せください。

広報委員(小倉北区南丘地区)

秋田 佳代子

報告

令和5年度 地区民児協会長研修会

日程：6月16日(金) 場所：ウェルとばた2階多目的ホール

北九州市民生委員児童委員協議会 活動研究委員会 委員長 河野はつえ

令和5年度地区民生委員児童委員協議会会長研修会が、6月16日(金)に、ウェルとばた2階多目的ホールにて開催されました。

講師に、中部学院大学人間福祉学部教授の佐甲学先生をお迎えして「地区民児協会長の役割と運営について」をテーマに講演をいただきました。



中部学院大学 教授 佐甲 学 氏



グループワークでの意見交換

前半は「単位民児協運営の手引き」を基に、組織運営、行政との関係、災害時の行動、個人情報、コロナ禍での活動と、あらゆる視点から講義していただき、とても勉強になりました。

後半のグループワークでは、新任とベテランそれぞれの立場で、地域の問題点やその解決策について活発な意見交換が続き、時間が足りないほどの盛り上がりでした。各グループの発表も、コロナ禍の空白を埋めるように素晴らしいもので、改めて会長研修会の大切さを再認識する思いでした。

令和5年度 市民児協評議員会

地区民児協会長研修会終了後、評議員116名が出席し、令和4年度の活動報告・決算についての審議が行われ、承認されました。

報告

活動啓発パネル展・よろず相談会

場所：ウェルとばた2階交流プラザ

5月12日の「民生委員・児童委員の日」から1週間の活動強化週間に合わせて、市民児協では、民生委員・児童委員活動についての理解を広めるため「パネル展」を開催し、広報・啓発活動を行いました。会場では、民生委員・児童委員活動についてのDVDを上映しました。

5月15日には「よろず相談会」を実施し、活動研究委員会、広報委員会、主任児童委員部会から2名ずつ協力いただき、市民からの相談に応じました。パネル展及びよろず相談会にご来場いただきありがとうございました。



よろず相談会の様子



パネル(26枚)による広報啓発活動!



活動内容をまとめたDVDを上映!

報告

市長と市民児協正副会長との懇談会

日程：7月24日(月) 場所：北九州市役所

この懇談会は、昭和62年に民生委員児童委員制度創設70周年記念事業として始まりました。

本年度は、武内市長並びに保健福祉局、子ども家庭局の代表者と懇談しました。

市民児協から、昨年度の民生委員・児童委員の活動状況報告を行った後、各区における活動の現状や民生委員・児童委員のなり手確保に向けた取り組み等についてお伝えし、今後の活動について、大変有意義な懇談会となりました。



懇談会の様子



武内市長と市民児協正副会長

♪第36回リレーエッセイ

八幡西区黒崎地区 民生委員児童委員協議会 会長 渡邊 靖久

八幡西区は約12万世帯で人口は約24万人。どちらも北九州市で最も多い区になります。33の単位民児協で359名の民生委員が活動しています。内訳は世帯担当299名、主任児童委員60名です。

八幡西区民児協の理事は33名。この内、15名が新任理事です。一方で理事歴が12年を超すベテランも10名います。月に1回の理事会では、各自のキャリアや経験に基づき、活発に意見の交換を行っています。それぞれの単位民児協は理事会での報告や意見を基に話し合い、その内容をフィードバックしています。

私が所属する黒崎地区は宿場町の名残を感じる街です。井筒屋の撤退や商店街の衰退など負のイメージもありますが、交通の要地として再開発が計画されており、活気を取り戻しつつあります。宿場町の『通過すれども滞在せず』ではなく、子どもから高齢者まで安心して長く暮らせる街となるよう13名の民生委員・児童委員は仲良く楽しく活動しています。

人口最多の区で活動中

今回は、戸畑区の民生委員・児童委員さんです。お楽しみに♡